

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1 はじめに

当協会は、平成元年4月に社団法人として発足し、平成23年6月からは公益法人制度改革により公益社団法人として再スタートした。その後、平成29年4月に名称を現在の神奈川県産業資源循環協会に改称し、産業廃棄物の適正処理及び資源化の推進に関する諸事業を通して、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るとともに、県民福祉の向上及び循環型社会づくりの促進に寄与している。

2 産業廃棄物処理業の状況

神奈川県産業廃棄物処理実績調査報告書によると、令和4年度に県内の処理業者が県内で発生した産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）を受け入れた量は10,179千t（令和3年度8,504千t）、県外で発生した産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）を受け入れた量は3,234千t（令和3年度2,286千t）であった。

また、公益社団法人全国産業資源循環連合会（全産連）の「産業廃棄物処理業景況動向調査報告書」（2023年10-12月期）によると、経営上の問題点として「従業員の不足」「修理、修繕等の増加」の回答割合が高く、記述意見では燃料費、物価の高騰を懸念する声が多く寄せられている。

3 行政の取組み

環境省は、令和6年3月に新法となる「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案」（資源循環高度化法）を国会に提出した。この法案は、資源循環と脱炭素化の取組を一体的に促進するもので、動脈産業、静脈産業、自治体、市民・消費者が連携しながら、脱炭素（CN）と循環経済（CE）の同時達成に向けた持続可能な社会、資源循環産業の発展を目指すものである。

また、プラスチック資源循環促進法が施行され、製品設計からプラスチック廃棄物の処理までのライフサイクル全般であらゆる主体による資源循環の取組が促進されている。

神奈川県は、令和5年度に循環型社会づくり計画の改定を行い、基本理念である「廃棄物ゼロ社会」を目指し、「資源循環の推進」「適正処理の推進」「災害廃棄物対策」の3つの施策を柱に、安全安心な適正処理及び資源循環の推進に取り組んでいる。

4 協会の取組み

昨年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ移行され、令和2年から始まったコロナによる様々な制限が緩和され、経済活動は戻ってきたが、大幅な円安、燃料代の値上げ、人手不足など業務に大きな影響があると予想される。

こうした状況や業界を取り巻く社会・経済環境等を踏まえ、当協会は、循環型社会づくりにおける重要な役割と地位を担い、適正処理と資源循環の更なる推進に向け、コンプライアンスの徹底、人材育成の推進、労働災害の防止、地球温暖化対策、災害廃棄物処理の支援などの事業を行政や関係団体と連携・協力して、webを活用する等工夫しながら実施した。

また、県が実施する特定家畜伝染病発生時に係る防疫措置に向けた体制整備に積極的に協力した。

公益目的事業

1 産業廃棄物の適正処理のための法的事項、安全衛生等の普及啓発及び情報提供等による普及啓発

(1) 法定事項の遵守、コンプライアンス等の向上及び不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発並びに調査研究に基づく普及啓発

ア 法定事項の遵守、コンプライアンスの向上の普及啓発

(ア) マニフェスト等の普及啓発事業

産業廃棄物の処理に係る法定事項である委託契約書、マニフェスト(産業廃棄物管理票)、帳簿を遵守・徹底し、適正処理のコンプライアンスを向上・徹底するため、委託契約書、マニフェスト等を頒布(515,200セット)しました。

また、マニフェスト制度紹介資料「産業廃棄物管理票(マニフェスト制度)について」をホームページに掲載し、制度の正しい理解と適正運用を促進しました。

(イ) 産業廃棄物処理業者基本台帳整備・許可期限通知事業

産業廃棄物処理業の更新時の混乱による無許可営業を防止するため、更新期限の通知を行いました。(年2回実施)

通知文発送日	許可期限日範囲	発送件数
R5. 8. 9	R5. 11. 1~R6. 6. 30	86 社
R6. 3. 11	R6. 6. 1~R7. 1. 31	122 社

(ウ) 許可講習会等の実施協力事業

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請者、処理業務従事者、実務者に対する講習会や検定試験の実施に協力し、法定の資格遵守を普及啓発しました。

a 許可講習会の試験〔(公財)日本産業廃棄物処理振興センター実施〕

講習会名・講習内容	開催日	受講者数	会場	
新規 許可講習会	収集・運搬課程	R5. 5. 23AM	69 名	かながわ労働プラザ (横浜市)
		R5. 7. 26AM	80 名	
		R5. 9. 20PM	70 名	
		R5. 10. 26AM	78 名	
		R5. 10. 27PM	79 名	
		R5. 11. 9AM	80 名	
		R5. 12. 6PM	76 名	
		R6. 1. 24AM	76 名	
		R6. 2. 15PM	74 名	
	処分課程(収集・運搬課程と合同)	R5. 5. 23AM	48 名	
	R5. 11. 9AM	79 名		
特別管理産業廃棄物収集運搬課程	R5. 8. 22AM	82 名		
更新 許可講習会	収集・運搬課程 (特別管理産業廃棄物収集運搬課程)	R5. 5. 24AM	75 名	
		R5. 7. 25PM	87 名	
		R5. 8. 22AM	82 名	
		R5. 9. 20PM	85 名	
		R5. 9. 21AM	84 名	
		R5. 10. 27AM	86 名	
		※R5. 10. 25	88 名	

		R5. 12. 6AM	87名	かながわ労働プラザ（横浜市）
		R5. 12. 7AM	82名	
		R6. 1. 25AM	84名	
		R6. 2. 14AM	88名	
		※R6. 3. 6	80名	
		R6. 3. 7AM	85名	
		R6. 3. 8AM	84名	
	処分課程(収集・運搬課程と合同)	R5. 8. 23AM	67名	
		R5. 11. 10AM	57名	
特別管理産業廃棄物管理責任者講習会		R5. 5. 24PM	72名	
		R5. 7. 25PM	85名	
		R5. 7. 26PM	86名	
		R5. 8. 23PM	83名	
		R5. 9. 21PM	80名	
		R5. 10. 26PM	84名	
		R5. 11. 10PM	84名	
		※R5. 11. 8	81名	
		R5. 12. 7PM	81名	
		R6. 1. 24PM	74名	
		R6. 1. 25PM	72名	
		R6. 2. 14PM	65名	
	R6. 2. 15AM	36名		
	R6. 3. 7PM	83名		
	R6. 3. 8PM	66名		

b 検定試験〔(公社) 全国産業資源循環連合会実施〕

検定試験名・内容	開催日	受験者数	会場
産業廃棄物処理検定 (廃棄物処理法基礎)	R6. 2. 18	177名	かながわ労働プラザ（横浜市）

(エ) 排出事業者・行政との懇談会等の事業

事業者と行政及び処理業界との懇談会・懇話会の開催

会議名、場所	開催日	内容、場所等	出席者数
県央地区行政との勉強会 (プロミティ厚木)	R5. 4. 27	・行政等の動向について ・相模原市事業実施計画について	20名
湘南・県西地区行政との勉強会 (県小田原合同庁舎)	R5. 10. 13	①申請手引き等の改訂及び適正処理を行うための法令遵守等について ②特定家畜伝染病発生時における対応について～鳥インフルエンザを中心に～及び依頼事項について	33名

廃棄物対策協議会との懇話会 (湘南・県西地区委員会) (平塚商工会議所大ホール)	R6. 2. 16	①廃棄物処理における排出事業者責任、プラスチック資源循環促進法について ②プラスチック資源循環促進法と J&T 環境(株)の取組について	72名
--	-----------	---	-----

イ 不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発

産業廃棄物の不法投棄・不適正処理の発生を未然に防ぐため、神奈川県、市町村等が行う廃棄物不法投棄防止・撲滅キャンペーン事業や不法投棄物の撤去作業に参加して、不法投棄・不適正処理の防止を普及啓発するとともに、会員の優良事業所や優良従業員を表彰し、コンプライアンスの向上を推進しました。

(ア) 不法投棄防止等キャンペーン参加

委員会名	実施日	地域	実施場所	主催・実施主体	事業内容
横浜地区委員会	R5. 10. 1	横浜市	山下公園、象の鼻パーク等	小さな親切運動 神奈川県本部	山下公園、象の鼻パーク等一帯の清掃活動(約 800 人参加) 会員 34 名参加
県央地区委員会	R5. 9. 4	座間市	相模川座架衣橋付近	県央地域廃棄物対策推進協議会	座架依橋付近の相模川河川敷の清掃活動(全参加者 1,354 名)会員 31 名参加
	R5. 11. 6	愛川町	町内全域	県央地域廃棄物対策推進協議会	不法投棄防止合同パトロール
	R5. 11. 9	清川村	村内全域	県央地域廃棄物対策推進協議会	不法投棄防止合同パトロール
	R5. 11. 14	綾瀬市	市内全域	県央地域廃棄物対策推進協議会	不法投棄防止合同パトロール
	R5. 11. 20	大和市	市内全域	県央地域廃棄物対策推進協議会	不法投棄防止合同パトロール
	R6. 2. 27	津久井地域	相模原市緑区小倉周辺	津久井地域不法投棄防止協議会	不法投棄撲滅キャンペーン
湘南・県西地区委員会	R5. 5. 28	藤沢市内	鶴沼海岸ほか	藤沢市・かながわ海岸美化財団	第 47 回ゴミゼロクリーンキャンペーン地区会員 129 名参加(全体 4,230 名)
	R5. 5. 30	山北町・湯河原町、南足柄市・箱根町		山梨県・静岡県・神奈川県合同富士箱根伊豆地域不法投棄防止連絡協議会	不法投棄防止一斉パトロール(全参加者 28 名)会員 10 名参加
	R5. 7. 8	平塚市内	湘南ひらつか七夕まつり会場	平塚商工会議所青年部&平塚青年会議所	クリーンボランティア参加地区会員 11 名参加

(イ) 適正処理顕彰事業

a 協会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
功労者表彰	10名	R5. 6. 21 令和5年度定時社員総会
優良事業所表彰	10社	
優良従業員表彰	37名	

b 公益社団法人全国産業資源循環連合会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
功労者表彰	—	R5. 6. 16 (令和4年度より表彰式は執り行われない)
地方功労者表彰	3名	
優良事業所表彰	—	
地方優良事業所表彰	7社	
優良従事者表彰	9名	

c 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
産業廃棄物関係事業功労者表彰	2名	R5. 11. 10 第19回 産業廃棄物と環境を考える全国大会 グランドニッコー東京 台場 (東京都)

d 神奈川県県民功労者表彰(神奈川県知事表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
生活環境	1名	R5. 7. 12 神奈川県庁

e 神奈川県環境整備功労者表彰(神奈川県知事表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境整備功労者表彰	4名	R5. 11. 20 神奈川県庁

f 神奈川県環境保全功労者表彰(環境農政局長表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境保全功労者表彰	8名	R5. 7. 28 神奈川県庁

ウ 調査研究に基づく普及啓発

産業廃棄物の適正処理における課題に関する調査研究を行い、制度改善等が望まれる事項について、関係機関等に提言を行い、その内容を機関誌「さーきゅれーしょん第27号」に掲載し公表しました。

令和6年度予算及び施策等の提言

提 言 先	提 出 日
自由民主党(神奈川県支部連合会、神奈川県議会議員団)	R5. 7. 18
公明党(神奈川県本部、神奈川県議団)	R5. 8. 8
神奈川県知事、横須賀市長	R5. 7. 25
川崎市長、相模原市長	R5. 8. 2
横浜市長	R5. 8. 9

(2) 資料・情報の収集・提供、広報による普及啓発

産業廃棄物の処理及び資源循環に関する情報を収集・提供し、産業廃棄物の適正処理・資源化について普及啓発しました。

ア 法令・行政情報等の収集・提供

法令、行政情報、会員情報、災害廃棄物情報に加え新型コロナウイルス関連情報等を収集し、情報提供等の基礎資料とするとともに、関連する資料を提供しました。

(ア) 情報収集及び提供事業

行政や関係団体からの各種通知、案内等の情報を、随時会員等に通知するとともに、事務局内に配架等しました。

- ・会員等への行政情報やセミナー案内等の提供：月2回情報セット送付
- ・ホームページ掲載による公表：月2回更新（上旬、下旬）

イ ネット媒体を利用した情報提供

協会のホームページを見やすく使いやすくするため、主要行事や協会事業の一覧表の掲示、行政や関係団体からの情報提供に努めるとともに、各種講習会の予定等を掲載しました。

また、情報発信の更なる改善を図るため、情報活用部会において検討を行うとともに、フェイスブックやメールマガジンによる情報配信も行いました。

- ・ホームページの運営、メールマガジンの配信：月2回更新（上旬、下旬）
- ・フェイスブックへ委員会開催情報等掲載：随時更新

ウ 機関誌による情報提供・広報

機関誌「さーきゅれーしょん」に、産業廃棄物及び資源循環に係る行政情報をはじめ、法令情報、技術情報、労働災害防止のための安全衛生情報、各行事の実施結果、会員に関する情報などを掲載して発行・配布し、処理業者、排出事業者、行政、県民に適正処理や資源循環の推進に関する協会事業や行政情報、関連情報を広報しました。

(ア) 機関誌「さーきゅれーしょん」発行事業

- ・機関誌「さーきゅれーしょん」年4回作成し、会員・関係機関等に配布及び有償頒布

号数	発行日	特集	発行部数
第25号	R5. 4. 25	特集 プラスチックの資源循環推進のための講習会	770部
第26号	R5. 7. 25	特集 令和5年度定時社員総会	780部
第27号	R5. 10. 25	—	780部
第28号	R6. 1. 25	特集 第13回安全衛生大会	780部

(3) 安全衛生の向上・徹底の普及啓発

適正処理推進の基盤である労働者の安全・安心と経営の安定化に向けて処理業の安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。

また、令和5年度を初年度とする第3次労働災害防止計画（令和5～7年度）に基づき、計画に掲げる目標達成に向けた取組を行い、産業廃棄物処理業の安全衛生水準の向上を図りました。

ア 安全衛生パトロールや安全診断等による普及啓発

職場の安全衛生パトロールを行い、職場の状況・実態に応じた安全衛生方策を協議して課題を解決するなど、処理業者の職場改善を行いました。なお、実施にあたっては、参加者を縮小し新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した方法により実施し、労働安全衛生の専門家が同行して助言、指導等を行いました。

安全衛生パトロール実施状況

種 別	実施日	対 象
安全衛生パトロール	R5. 10. 4	横須賀地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行、労働衛生ミニセミナー開催)
	R5. 10. 5	湘南・県西地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行)
	R5. 10. 24	横浜区委員会主催 地区内事業所(専門家同行、労働衛生ミニセミナー開催)

イ 安全衛生の情報収集・提供

職場の労働災害防止や安全衛生の向上を図るため、安全衛生大会や講習会等を開催し、労働災害の発生実態や原因、具体的な対策について普及啓発を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインで行っていた安全衛生大会を4年ぶりに対面式で開催しました。

また、令和2年度に改訂した「労災防止マニュアル〔第3版〕」を活用しながら、現場で活用できる具体的な対策等を普及啓発しました。

・安全衛生大会

開催日	参加者数	内 容 等
R5. 11. 13	64名	労働安全衛生標語の優秀作品発表 (最優秀賞1名、優秀賞3名) 講演 ・産業廃棄物処理業における労働災害発生の現状 (講師：神奈川労働局労働基準部安全課 安全専門官 原田 朗功氏) ・職場の労働災害防止、安全衛生の向上に向けて (講師：中央災害防止協会 技術支援部安全管理士 青木 奏 氏)

・講習会等

開催日	参加者数	内 容 等
R5. 7. 21	14名	県央地区労働安全衛生ミニセミナー(県央地区委員会主催) (講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏) (大和商工会議所)

・労働安全衛生法規則に基づく特別教育

労働安全衛生規則が改正され、令和6年2月からテールゲートリフターによる荷役作業についての特別教育が義務化された。貨物自動車での荷役作業時の墜落、転落等の労働災害を防止するために、安全対策の強化を図る目的として特別教育を実施した。(主催 研修委員会、各地区委員会)

「テールゲートリフターの操作業務の特別教育」

講師 労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏

開催日	参加者数	開催場所等
R5. 9. 23	34名	大磯商工会館(湘南・県西地区委員会)
R5. 11. 11	36名	プロミティあつぎ(県央地区委員会)
R5. 12. 8	22名	かながわ労働プラザ(研修委員会)
R6. 1. 22	22名	川崎マリエン(川崎地区委員会)
R6. 1. 26	14名	かながわ労働プラザ(横浜地区委員会)

ウ 安全衛生事例等による普及啓発

会員企業の労働災害やヒヤリ・ハット事例の調査を行い、改善策の実施効果等を取りまとめるとともに、日常的な安全衛生活動の実施状況や各社が力を入れている取組内容等を収集し、機関誌「さーきゅれーしょん」に掲載するほか、各社の現場管理方法や作業方法等の見直しや改善など労働安全衛生活動の推進を図りました。

エ 安全衛生優良事業所等の顕彰による普及啓発

安全衛生優良事業所とその担当役員・従業員の顕彰を行い、安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。

令和5年度安全衛生協議会安全衛生表彰

区 分	表彰対象	表彰時期
5年表彰	—	R5. 6. 21(令和5年度定時社員総会)
年度表彰	14社	
優良役員・従業員表彰	10名	

(4) 全産連等との連携による適正処理の普及啓発

都道府県域を超えて処理される産業廃棄物の適正処理を推進するため、全国の処理業者や関係団体と連携・協力して適正処理を普及啓発しました。

ア 全産連等との連携による適正処理の推進

公益社団法人全国産業資源循環連合会の役員・委員として運営や諸事業に参画し、国等からの指導・助言を受け、情報を収集し、共通課題を協議・調査研究し、課題解決を進めて、適正処理を普及啓発しました。特に、当協会役員等が安全衛生委員会、医療廃棄物部会、建設廃棄物部会再生土木資材分科会に委員として参加し、各事業を推進して適正処理を普及啓発しました。

(ア) 全産連連携普及啓発事業

公益社団法人全国産業資源循環連合会の会議に次のとおり参加等しました。

a 総会

開催日	会場等
R5. 6. 16(第13回定時)	明治記念会館開催

b 理事会

開催日	会場等
R5. 5. 23(第66回)	Web開催
R5. 7. 11(第67回)	全産連会議室及びweb会議ハイブリット形式
R5. 10. 11(第68回)	全産連会議室及びweb会議ハイブリット形式
R6. 1. 12(第69回)	明治記念館(東京都港区)
R6. 3. 12(第70回)	全産連会議室及びweb会議ハイブリット形式

C 全国正会員事務局責任者会議

開催日	会場等
R5. 8. 24	web開催
R5. 2. 16	全産連会議室及びweb会議ハイブリット形式

d 委員会・部会・連絡会

開催日	委員会・部会会場等
R5. 8. 2 R6. 2. 5	第1回安全衛生委員会 web 会議 第2回安全衛生委員会 全産連会議室及び web 会議ハイブリット形式
	医療廃棄物部会運営委員会
R5. 8. 3	建設廃棄物部会 再生土木資材分科会 産連会議室及び web 会議ハイブリット形式

e 関東地域協議会会長会議及び協議会等

開催日	会場等
R5. 4. 18 R5. 6. 30	第70回会長会議・協議会 LEVEL XX1 東京會館（東京都千代田区） 災害廃棄物の処理等に係る相互応援に関する協定調印式 （エッサム神田2号館（東京都千代田区））
R5. 11. 16 R5. 10. 19 R6. 3. 19	第71回会長会議・協議会 浦安ブラントンホテル（千葉県浦安市） 第1回事務責任者会議 web 会議 第2回事務責任者会議 web 会議
R5. 11. 1-2	事務担当者会議
R5. 8. 7 R5. 10. 17	第1回建設廃棄物対策委員会及び実務担当者会議 Web 会議 第2回建設廃棄物対策委員会及び実務担当者会議 八重洲倶楽部会議室
R5. 4. 10 R5. 10. 10	第2回災害廃棄物委員会 web 会議 第3回災害廃棄物委員会 web 会議
R5. 11. 7 R6. 2. 21	第4回災害廃棄物委員会 大手町サンケイプラザ310号室 第5回災害廃棄物委員会 web 会議

f 青年部協議会

開催日	会場等
R5. 6. 15	総会（AP新橋（東京都））
R5. 10. 27	第12回全国大会 九州大会 in 沖縄（沖縄県）
R5. 6. 9	関東ブロック協議会通常総会
R5. 10. 14	栃木県協会との交流事業
R6. 1. 18	交流促進事業（神奈川県横浜市中区）
R6. 2. 16	関東ブロック賀詞交歓会（東京都）

イ 全国大会での適正処理の推進

公益社団法人全国産業資源循環連合会等が主催し、環境省等が後援する「産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参加し、全国の協会員等と共同して適正処理の普及啓発を行いました。

第19回 産業廃棄物と環境を考える全国大会

開催日	会場
令和5年11月10日	グランドニッコー東京 台場（東京都）

ウ 関係団体との連携による適正処理の推進と社会貢献の取組

産業廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者等関係団体の事業への参加や情報交換等を行い、連携して適正処理の推進と社会貢献に取り組みました。

(ア) 連携した関係団体

- ・公益社団法人神奈川県環境保全協議会
- ・一般社団法人東京都産業資源循環協会（一都三県建設混合廃棄物意見交換会、一都二県医療廃棄物合同懇談会）
- ・一般社団法人千葉県産業資源循環協会（一都三県建設混合廃棄物意見交換会）
- ・一般社団法人埼玉県環境産業振興協会（一都三県建設混合廃棄物意見交換会）
- ・公益社団法人静岡県産業廃棄物協会（一都二県医療廃棄物合同懇談会）
- ・公益財団法人かながわ海岸美化財団
- ・一般社団法人神奈川県建設業協会
- ・神奈川県ホームレス協議会
- ・神奈川県医師会（水銀血圧計回収等）
- ・独立行政法人労働者健康安全機構 神奈川産業保健総合支援センター
- ・神奈川県中小企業団体中央会

(イ) 1都2県医療廃棄物合同懇談会

実施日 令和5年9月15日

場所 静岡県産学交流センター

参加者 東京都産業資源循環協会 11名

神奈川県産業資源循環協会 10名（医療廃棄物部会員、事務局参加）

静岡県産業廃棄物協会 21名

内容 ・各協会挨拶及び活動紹介

・コロナ禍後の感染性廃棄物の処理状況

・燃料費が高騰するなかでの処理費用の設定の考え方

(ウ) 社会貢献の取組

- ・協会表彰及び安全衛生協議会表彰の副賞として海岸美化寄付付きクオカードを活用
- ・各地区委員会による不法投棄防止キャンペーン等へのボランティア参加（再）
- ・ピンクシャツデー2023 in 神奈川 「いじめストップ！ワールドアクション」への後援名義使用承認

(5) 体験学習会等による普及啓発

県民、児童、大学生等に環境を守ることの難しさや産業廃棄物の適正処理と処理業界への認識を深めてもらうため、会員企業において産業廃棄物の排出から処理までの過程を見学・体験を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から見送りとなりました。

- ・横須賀商工会議所主催マイタウンティーチャー 実施見送り

(6) 県受託事業等の推進

循環型社会の形成及び環境保全を図るため、受託事業等推進委員会が県等と連携して産業廃棄物の適正処理の推進及び資源循環の推進に関する調査研究やセミナーの開催、普及啓発などを実施しました。

ア 産業廃棄物処理業者講習会

実施日 令和5年10月4日 かながわ労働プラザ4階第3会議室

参加者 44名

講演① BCP・事業継続力強化計画の必要性について

講師 中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室 室長補佐 田守 光洋 氏
中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室 土田 浩史 氏

講演② 事業継続計画（BCP）による東日本大震災からの復旧・復興

講師 鈴木工業（株） 代表取締役 鈴木 伸爾 氏

イ 廃プラスチック類等の資源循環の推進に係る普及啓発等事業

廃プラスチック類のリサイクル施設見学会の実施

実施日 令和5年11月16日 場所 (株)エフピコ 関東リサイクル工場（茨城県）

参加者 46名

ウ 食品廃棄物の削減に向けた普及啓発等事業

食品廃棄物のリサイクル促進に係る講習会

オンラインセミナーの開催、セミナーの配信用動画の作成

開催方式：ライブ配信によるオンライン方式（会場：アットビジネスセンター会議室）

実施日 令和6年2月7日 参加者 54名

講演① 食品リサイクル法に基づく基本方針の一部見直し等について

講師 農林水産省大臣官房 新事業・食品産業部 外食・食文化課
課長補佐 月岡 直明 氏

講演② 御殿場プレミアム・アウトレットにおける食品残渣の堆肥化と場内緑化へ
利用する取り組みについて

講師 御殿場プレミアム・アウトレット マネジメントオフィス
三菱地所・サイモン株式会社 支配人 松本 泰 氏

講演③ 食品廃棄物をリサイクルして循環型社会を実現する「地域食品資源循環ソリューション」

講師 NTT ビジネスソリューションズ株式会社 スマートアグリS事業部
統括部長 鳥嶋 祐嗣 氏

2 産業廃棄物の適正処理及び資源循環の推進に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成

(1) 研修会、講習会等の開催

産業廃棄物処理業者及び排出事業者の適正処理及び資源循環の推進等に関する意識と資質の向上のため及び職場の安全衛生と産業廃棄物処理業界の安全衛生水準の向上のため、法令、知識、技術及び技能に関する研修会、講習会、セミナー及び視察見学会の開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から安全確保に留意しながら、実施可能な事業に取組みました。

ア 講習会等開催事業

(ア) 研修委員会 電子マニフェスト操作講習会

開催日	参加者数	場所	講習内容
未実施			

(イ) 研修委員会・各地区委員会講習会

「テールゲートリフターの操作業務の特別教育」(再掲)

講師 労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏

開催日	参加者数	開催場所等
R5. 9. 23	34 名	大磯商工会館 (湘南・県西地区委員会)
R5. 11. 11	36 名	プロミティあつぎ (県央地区委員会)
R5. 12. 8	22 名	かながわ労働プラザ (研修委員会)
R6. 1. 22	22 名	川崎マリエン (川崎地区委員会)
R6. 1. 26	14 名	かながわ労働プラザ (横浜地区委員会)

(ウ) 医療廃棄物適正処理講習会

(エ) 建設廃棄物の適正処理講習会

(オ) 車両管理者ドライバーズ講習会 (再掲)

開催日	参加者数	開催方法・場所	講習内容
未実施			

(カ) 法令研修会

開催日	参加者数	場 所	研 修 内 容
R6. 2. 6	105 名	かながわ労働プラザ	産業廃棄物処理検定試験 (全産連主催) の受験者等を対象とした法令研修会

(キ) 県受託産業廃棄物等講習会 (再掲)

開催日	参加者数	開催方法等	講習内容
R5. 10. 4	44 名	かながわ労働プラザ	産業廃棄物処理業者講習会 ①BCP・事業継続力強化計画の必要性について ②事業継続計画 (BCP) による東日本大震災からの復旧・復興
R6. 2. 7	54 名	ライブ配信、オンライン	食品廃棄物のリサイクル促進に係る講習会 ①食品リサイクル法に基づく基本方針の一部見直し等について ②御殿場プレミアム・アウトレットにおける食品残渣の堆肥化と場内緑化へ利用する取り組みについて ③食品廃棄物をリサイクルして循環型社会を実現する「地域食品資源循環ソリューション」

イ 地区セミナー・視察見学会

(ア) 地区セミナーの開催

委員会等	開催日	参加者数	会場	内容
横浜地区	R5. 12. 5	41 名	かながわ労働プラザ	①「事例から学ぶ災害廃棄物処理の実務 ～災害派遣先での経験を共有～」 ② 災害廃棄物仮置場の運営管理について～令和元年台風19号災害での経験を共有～
川崎地区	R5. 7. 19	33 名	川崎市産業振興会館	①川崎市のプラスチック循環の取組について ②プラスチックのリサイクル技術について
横須賀地区	R5. 11. 28	11 名	ヴェルク横須賀	①特定家畜伝染病発生時における対応について～鳥インフルエンザを中心に～ ②特定家畜伝染病発生時の依頼事項について
県央地区	R5. 7. 21	14 名	大和商工会議所	労働安全衛生ミニセミナー（再掲）
	R5. 10. 10	38 名	厚木アーバンホテル	・2024年問題の対応！について
湘南・県西地区	R5. 8. 4	23 名	平塚商工会議所	カーボンニュートラルへの取組入門
	R5. 10. 13	33 名	県小田原合同庁舎	行政との勉強会 ①「申請手引き等の改訂について」及び「適正処理を行うための法令遵守等について」 ②特定家畜伝染病発生時における対応について～鳥インフルエンザを中心に～及び依頼事項について
	R6. 2. 16	72 名	平塚商工会議所	廃対協(排出事業者)との懇話会 ①廃棄物処理における排出事業者責任について プラスチック資源循環促進法について ②プラスチック資源循環促進法と J&T 環境(株)の取組について

(イ) 産業廃棄物処理施設等の施設見学会の開催

委員会等	開催日	参加者数	見学施設
横浜地区委員会	R6. 2. 15	10 名	横浜市民防災センター
川崎地区委員会			—
横須賀地区委員会	R6. 2. 15	23 名	横須賀市ごみ処理施設「エコミル」
県央地区委員会			—
研修委員会	R5. 10. 20	13 名	田口金属(株)丘里工場、古川工場（茨城県）
医療廃棄物部会			—

(2) 後継者、若手経営者等の養成

産業廃棄物処理業経営者の後継者を養成するため、青年部会の自主企画による産業廃棄物の適正処理のための公益活動を行いました。

・青年部会実施公益目的事業

開催日	参加者	場 所 等	活 動 内 容
R5. 6. 3	10 名	みなとみらい 21 地区 全域	横浜開港祭 ボランティア活動 ・廃棄物の分別指導を通じ廃棄物適正処理の普及啓発
R5. 10. 6	23 名	ザ・ウイングス海老名	教育研修事業 ・労働災害事例を基に実用的な対策方法を学ぶ
R6. 2. 3	14 名	藤幸会館	教育研修事業 ・福利厚生の実践が企業価値を高める

3 産業廃棄物に関する相談対応、指導・助言及び処理業者の紹介

処理業者、排出事業者、県民等からの産業廃棄物処理に関する相談や苦情申し出に対応して適切な処理を指導・助言するとともに、廃棄物の処理を必要とするときは専門の処理業者等を紹介しました。

4 災害廃棄物の処理の支援等

地震等大規模災害発生時における災害廃棄物の処理等については、県との基本協定のほか県内市町村との協定締結を進め、今後の災害時の迅速な対応に向け、行政との意見交換会や訓練等に参加するとともに各地区委員会における地区会員連絡網の点検・確認を行いました。

また、災害廃棄物処理に係る事業を推進するため、協会の専門委員会として災害廃棄物委員会を設置するため、12月19日の理事会で、規程の改定、委員の選任を行い、第1回災害廃棄物委員会を2月9日に開催し、県及び政令市と意見交換を行った。

家畜伝染病防疫業務については、県と締結した「特定家畜伝染病発生時における防疫業務に関する協定書」に基づき、協力要請項目の協議や協会協力体制の検討を行うとともに、県実施訓練等に参加した。

(ア) 災害廃棄物の処理対応

a 地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定書の締結状況

- ・令和5年度協定締結 海老名市 (R5. 11. 24)、清川村 (R5. 12. 25)
- ・令和4年度までに締結した市町 (27市町)

横浜市、横須賀市、秦野市、葉山町、川崎市、開成町、平塚市、箱根町、相模原市、小田原市、鎌倉市、藤沢市、大磯町、三浦市、綾瀬市、逗子市、座間市、茅ヶ崎市、寒川町、二宮町、南足柄市、中井町、伊勢原市、愛川町、大和市、松田町、厚木市(協定の締結順)

b 訓練等参加状況

- ・災害廃棄物仮置場設置・運用訓練 (横浜市開催)

実施日 R6. 3. 14 [横浜地区委員会・災害廃棄物委員会対応]
場 所 反町講演(一次仮置場想定)、市庁舎会議室(対策本部等想定)
内 容 仮置場の設置やLINEWORKSを使った連絡訓練

c 連絡網の点検・確認

協会災害廃棄物処理等支援程に基づき、各地区委員会において地区会員連絡網の点検・確認を行いました。

(イ) 家畜伝染病発生時防疫業務対応

a 訓練参加状況

- ・神奈川県特定家畜伝染病対策防疫演習及び県西現地危機管理対策本部訓練（県実施）
 実施日 R5. 10. 20 [協会事務局、湘南・県西地区委員会対応]
 場 所 小田原合同庁舎
 内 容 ①連絡調整・情報受伝達訓練 ②現地対策本部訓練
 ③ベースキャンプ訓練 ④消毒ポイント訓練
 ⑤現場事務所訓練、⑥発生農場殺処分訓練
- ・令和5年度 高病原性鳥インフルエンザ発生時を想定した焼却訓練（県実施）
 実施日 R5. 11. 1 [協会事務局、川崎地区委員会対応]
 場 所 (株)クレハ環境 ウエステックかながわ
 内 容 座学及び焼却訓練（200パレット 108 個を焼却）

5 専門委員会、地区委員会等の開催

公益目的事業等を円滑に推進するため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面及びWeb会議等も活用しながら次のとおり各委員会・部会を開催しました。

[専門委員会、地区委員会等の開催状況]

委員会等名	開催日	委員会等名	開催日	
企画・財政委員会	4回 R5. 5. 10、9. 6、 12. 6、R6. 3. 6、	横浜地区委員会	4回 R5. 5. 10、5. 16、7. 4、 12. 5	
広報委員会	4回 R5. 5. 11、8. 8、 11. 7、R6. 2. 14	川崎地区委員会	2回 R5. 7. 19、9. 28	
研修委員会	4回 R5. 4. 14、6. 6、 8. 21、10. 2	横須賀地区委員会	3回 R5. 7. 25、10. 4、11. 28	
福利厚生委員会 (表彰審査会)	5回 R5. 4. 13、7. 24、8. 30、 11. 27、R6. 2. 9 (1回 R6. 2. 9)	県央地区委員会	4回 R5. 4. 27、7. 21、 10. 10、R6. 2. 19	
		湘南・県西地区 委員会	5回 R5. 4. 12、6. 2、8. 4、 10. 13、R6. 2. 16	
建設廃棄物特別委 員会	1回 R5. 9. 5	情報活用部会	2回 R5. 5. 11、11. 7	
医療廃棄物部会	2回 R5. 6. 30、8. 4	収集運搬部会	2回 R5. 8. 28、R6. 3. 12	
安全衛生協議会	1回 R5. 5. 17	青年部会	全体会 1回 R5. 4. 7 幹事会 10回 R5. 4. 7、 5. 12、7. 7、9. 1、10. 6、 11. 10、12. 1、R6. 1. 12、 2. 2、3. 1 定例会 4回 R5. 11. 10、 12. 1、R6. 1. 12、2. 2	
法制度整備委員会	3回 R5. 6. 15、11. 20、 R6. 2. 6		役員選考・推薦 委員会	R5. 4. 21
受託事業等推進委 員会	6回 R5. 4. 18、6. 27、8. 7、 10. 4、10. 31、R6. 1. 18		倫理委員会	R5. 12. 19
災害廃棄物委員会	1回 R6. 2. 9			

共益事業

1 会員及び会員の従業員の元気回復、懇親等の福利厚生に関する事業

会員及び会員の従業員の精神的安定、元気回復等のため、ゴルフコンペ等を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を見送りました。

行事名	開催日	会場	参加者数
RCK会ゴルフコンペ	R5. 5. 26	小田急藤沢ゴルフクラブ	15名
観劇会（宝塚歌劇）	R5. 9. 16	東京宝塚劇場公演	50名
RCK釣り大会	-	-	-
RCK会ゴルフコンペ	R5. 10. 18	芙蓉カントリー倶楽部	20名
賀詞交歓会	R6. 1. 17	ワークピア横浜	219名

2 会員及び会員の従業員の県外施設見学会に関する事業

会員による先進・模範的な県外施設の視察研修会を行いました。（再）

行事名	開催日	見学先	参加者数
県外施設見学会	R5. 10. 20	田口金属(株)丘里工場、古川工場（茨城県）	13名

3 会員に対する各種資料の配布や情報提供等に関する事業

行政や関係団体からの各種通知、案内等の情報及び新型コロナウイルス関連情報について、通知するとともに、ホームページへの掲載や事務局内に配架等しました。

- ・会員への行政情報等の提供：月2回程度送付（随時）
- ・ホームページへの掲載：月2回更新（上旬、下旬）
- ・フェイスブックへの掲載：随時
- ・メールマガジンによる情報配信
- ・会員専用サイトの運営
- ・許可更新期限の通知

管理事業

1 総会、理事会等の開催

協会運営の基本となる事項を協議・決定するため、定時社員総会、理事会、企画・財政委員会等を開催しました。

(1) 総会開催事業

令和5年度定時社員総会

開催日	場所	出席者	議案等
R5. 6. 21	メルパルク横浜 (横浜市)	出席 108社 代理人決議 66社 書面議決 177社 合計 351社	【議事】 1 令和4年度事業報告及び令和4年度収支決算報告、令和4年度監査報告、役員の改選 【報告事項】 1 令和5年度事業計画及び令和5年度収支予算 【表彰】 1 協会表彰 2 安全衛生協議会表彰

(2) 理事会・常任理事会等開催事業

ア 理事会

開催	開催日	場所	出席状況	協議事項
第7期第9回 定時理事会	R5.5.17	日本赤十字社 神奈川県支部 会議室	理事 21名 監事 1名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 3 令和4年度事業報告・収支決算報告 4 令和5年度社員定時総会開催方法 ほか 【報告事項】 ・RCKバリューアップ!PJ
第7期第10回 定時理事会	R5.6.21	メルパルク横 浜	理事 27名 監事 2名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 【報告事項】 ・総会・臨時理事会の進行方法等
第8期臨時 理事会	R5.6.21	メルパルク横 浜	理事 28名 監事 2名	【協議事項】 1 会長等、専門委員会の長の選任 2 青年部会の長の選任 ほか
第8期第1回 定時理事会	R5.9.13	万国橋会議セ ンター	理事 21名 監事 1名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 3 (仮称)災害廃棄物委員会の設置につ いて 【報告事項】 ・ホームページリニューアルの進捗状 況について
第8期第2回 定時理事会	R5.12.19	万国橋会議セ ンター	理事 21名 監事 2名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 3 寄付の受入れについて 4 災害廃棄物委員会の設置について 【報告事項】 ・令和6年度県への予算等要望書の回 答
第8期第3回 定時理事会	R5.3.13	波止場会館大 会議室	理事 20名 監事 1名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 3 令和6年度事業計画・予算について 4 協会規程の一部改正について 5 協会表彰の受賞者及び全産連表彰の 推薦について 6 事務局長の選任について ほか

イ 正副会長会議

開催日	場 所	出席状 況	協 議 事 項
R5. 12. 8	シルクセンター地下 会議室及び web 会議	8 名	1 災害廃棄物委員会の設置について ほか

ウ 県との資源循環推進懇話会・情報交換会

開催日	場 所	内 容	参加者
R5. 12. 19	万国橋会議セン ター	県からの情報提供 ・循環型社会づくり計画改定素案について ・神奈川県 of 災害廃棄物処理対策について ・かながわ環境整備センターについて	県幹部等 6 名 理 事 18 名 監 事 2 名

2 組織の強化・拡大、加入促進

協会の組織強化・拡大のため、理事が中心となって業務上の関連がある未加入業者等に対し、協会への加入を促進しました。

(1) 会員入退会、名簿の作成・訂正事業

- ・令和 5 年度の会員の異動状況

区 分	会員数 (R6. 3 末現在)	会員数 (R5. 3 末現在)	異 動 状 況		会員数 増 減
			加入	退会	
正 会 員	467	474	4	11	△7
賛助会員	59	63	5	9	△4
合 計	526	537	9	20	△11

- ・会員名簿（2023. 7. 1 現在）作成 660 部
- ・会員名簿（2023. 7. 1 現在）会員専用サイト掲載、会員名簿訂正表随時更新
- ・協会ホームページ用 会員名簿 随時更新

(2) 会費収入管理事業

会員から納入された会費を管理しました。

3 事業報告等の提出及び公益法人変更登録等

令和 5 年度定時社員総会における令和 4 年度事業報告・収支決算報告の決議を受け、神奈川県へ事業報告の提出を行いました。

また、第 8 期第 3 回理事会における令和 6 年度事業計画・収支予算及び資金調達等の決議を受け、神奈川県へ提出しました。

4 事務局の運営

その他協会運営に必要な事務局の運営などを行いました。

(1) 調査回答事業（協会の管理に係るものに限る。）

全産連や他団体等からの調査照会に回答しました。

(2) **全産連総会等参加事業**

全産連通常総会や関東地域協議会等に参加しました。

(3) **事務局管理運営事業**

その他協会運営に必要となる事務局の運営や理事会・各委員会の開催準備・記録作成、各委員会の行事の開催準備などを行いました。